

「グリーンファースト ゼロ」による ZEH の普及促進の取り組みにより 「2021 年度 省エネ大賞」 省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞 受賞

積水ハウス株式会社は 12 月 22 日、「グリーンファースト ゼロ」による ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及促進の取り組みにより「2021 年度省エネ大賞」（主催：一般財団法人 省エネルギーセンター、後援：経済産業省）省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

本表彰事業は、事業者や事業所等が実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品ならびにビジネスモデルを表彰し、国内の省エネ意識の拡大や、省エネ製品の普及に寄与することを目的としています。当社は戸建住宅 ZEH の普及が評価され、省エネルギー事例部門に新設された ZEB・ZEH 分野（※）で「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。



審査コメント：

同社は、年間約 1 万棟の ZEH を供給し、ZEH 化率は 91%としている。ZEH は 2013 年より開始し、累計 60,810 棟を供給し、これによる年間の一次エネルギー消費削減量は原油換算 74,590kL、CO₂ 排出削減量は 21.6 万 t-CO₂ に達している。同社の主たる視点と活動は、①汎用性を重視した普及可能な ZEH の追求として、様々な屋根形状に対応可能な瓦一体型太陽光システムや断熱窓の開発、②社内教育設計サポートとして、ZEH 簡易判定ツールの開発など、③顧客への訴求として、快適性と省エネを両立する良さを伝えるパンフレットの配布やセミナーの開催、光熱費メリットの説明計算ツールの開発や、災害対応、レジリエンスの PR などを行っており、他社の参考となる ZEH 普及活動として評価できる。

第 6 次エネルギー基本計画では「2030 年度以降新築される住宅・建築物について ZEH・ZEB 基準の水準の省エネ性能を確保する」という目標が掲げられ、今後は集合住宅についても普及が求められます。当社は既に賃貸住宅「シャームゾン」でも、2021 年度上期の ZEH の受注が 3,486 戸と、2020 年度の年間受注戸数を半年で上回るなど好調に推移しています。また分譲マンション「グランドメゾン」についても、2021 年度の新規着工案件はすべて ZEH、ZEH-M 基準をクリアする仕様としており、販売する物件は 2023 年度に 100%に達する見込みです。

積水ハウスは、“「わが家」を世界一 幸せな場所にする”というグローバルビジョンのもと、「ESG 経営のリーディングカンパニー」を目指しています。ZEH の普及を通じて住まいの脱炭素に貢献してまいります。

（※）省エネルギー部門における ZEB・ZEH 分野：建築物の ZEB 化や住宅の ZEH 化により省エネを達成した活動で、今後の ZEB・ZEH の普及につながる事が期待される案件が対象。このうち、ZEH に関しては、全国規模での ZEH の大量供給や、自社建築実績において高い ZEH 比率を達成した取り組みにより、省エネ成果を上げた活動が対象